授業科目名・形態	成人・老年看護学実習Ⅰ　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	井澤　美樹子　　他	実務経験の有無	有	開講期	３年前期・後期
科目ナンバリング	N5-3014npmht				

【授業の主題】

慢性の病を持ちながら生活している生活者としての成人および高齢者とその家族を、身体的・心理的・社会的視点から理解する。対象の最良の健康を目指した個別的な看護の実践方法を学び、専門職者として必要な態度を習得する。

【到達目標】

1. 慢性の病とともに生きる生活者である対象の健康状態を身体的・心理的・社会的視点から理解できる。
2. 慢性の病とともに生きる対象の最良の健康状態を目指し、科学的根拠に基づいた個別的な看護を実施できる。
3. 保健医療福祉チームにおける看護者の役割と責任、チーム間の連携や協働の実際を理解できる。
4. 看護の対象となる人の権利の保障や倫理的配慮について学び、常に相手を尊重する態度を養う。

【授業計画・内容】

実習期間：2026 年４月から 10 月
実習場所：大館市立総合病院
実習方法：配置表に基づき、グループに分かれて実習を行う。１グール２週間の実習。
慢性期・回復期・終末期にある成人期あるいは老年期の患者を原則１名受け持ち、看護を展開し、実習指導者・教員の指導のもとに実習を行う。
人工透析室実習が実習中 3.5 時間組まれている。

【授業実施方法】

臨地実習

【事前・事後学習】

実習で活用できるように意識して事前学習に取り組んでください。
基礎的な看護技術は、事前に各自練習して、実習に臨んでください。
実習で経験した内容は、実習直後に復習して次に繋げてください。
事前学習や練習、実習直後の復習や実習記録記載、看護サマリ作成を含め自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

病態治療学ⅠⅡ　成人看護学概論　成人看護方法論Ⅰ

【教科書等】

関連する科目で使用した教科書、レジメ、資料

【参考文献】

適宜提示・指示

【成績評価方法】

実習状況や実習態度およびカンファレンス参加度（60%）、実習記録（40%）により総合的に判断する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

担当者は、総合病院で慢性の病とともに生きる人の看護を経験
実務経験を活かして、看護の深さ・面白さを学生が感じることができるような実習にしたい。

【学生へのメッセージ】

看護の対象は、疾患ではありません。慢性の病とともに生きている人です。その人にとってより良い健康とはどのようなことなのか、深く感じ・考える実習にしてください。
学生はチームの一員です。チームの一員として報告・連絡・相談を積極的に行い楽しい実習にしましょう。
健康管理をして実習に臨みましょう。